

佳作 「世界と日本、どっちがいいの」

三河安城小学校 清水 海里

ぼくは学校の給食が好きです。学校の給食は美味しいし、いろいろな種類のメニューがあるのでいつも飽きずに食べることができています。でも時々、好きではない物が出てきます。でもそれは年に十回あるかないくらいなので、多少は驚くこともあります。ぼくは給食が好きです。

ぼくたちが食べているのは「日本の給食」ですが、「世界の給食」はどうなっているのかなあ？と思ったので調べていくことにしました。

まず、ぼくが羨ましいなあと思った国の給食を紹介します。一つ目はスペインの給食です。スペインの給食はビュッフェのようなもので、自分の好きな物を自由に取ることができます。なので毎日楽しくなると思います。二つ目は、オランダ、中国の給食です。オランダ、中国はまず、家に帰ってお昼ご飯を食べます。給食ではないかもしれませんが、これもスペインと同じように好きな物を食べることができると思います。この二つは「今日は何食べようかなあ。」としたりして、お昼ご飯が楽しみになると思います。

次にぼくが、これ本当に大丈夫かと思った国を紹介します。一つ目は、イギリスです。なぜならおかしとバナナでお昼をすませてしまうこともあるからです。お昼ご飯は午後を元氣良く過ごすためにあるのに、そんなに少ないと、午後を元氣に過ごせなくなってしまうと思います。二つ目はアメリカです。アメリカのお昼ご飯はおかし、ポップコーン、牛乳、ハンバーガーです。これでは栄養がかたよってしまうと思います。そういうことを考えると日本の給食はすごいんだなあと思いました。旬の食材を使ったり、一ヶ月間同じメニューはありません。

お母さんも昔の給食のことを時々思い出しているそうです。同級生と会った時とかに、話すこともあるそうです。きっとぼくも大人になったときに、日本の給食のことをいい思い出として思い出すのだと思います。